北海道大学総合博物館
常設展

2017年 8月 1日
リニューアルオープン

UBRJ
Eurasia Unit for Border Research (Japan)

国境観光

BORDER TOURISM

主 催 ：北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター 境界研究ユニット（UBRJ）

閉ざされた空間で生み出す
境界を越えて向こう側と繋がる
ボーダーツーリズムの様々な
かたちと可能性を考える

WAKKANAI
北海道稚内市

THE FUTURE OF BORDER TOURISM
これからの国境観光

SAKHALIN
樺太

PHOTO EXHIBITION
小笠原国境紀行写真展

＊入場無料

会場：北海道大学総合博物館２階　スラブ・ユーラシア研究センター UBRJ ブース
会期：2017 年 8 月 1 日（火）より　　＊月曜休館（祝日の場合は翌日休館）、臨時休館あり
時間：10:00 ～ 17:00（6 ～ 10 月の金曜のみ 10:00 ～ 21:00）

協　力
稚内市　根室市　標津町　小笠原村　北海道大学総合博物館
境界地域研究ネットワーク JAPAN（JIBSN）　NPO法人 国境地域研究センター（JCBS）
人間文化研究機構北東アジア地域研究北大スラ研拠点（NoA-SRC）
ビッグホリデー株式会社　北都観光株式会社　エムオーツーリスト株式会社　卸売スーパー ユアーズ

国境観光 の様々なかたちと可能性を考える

BORDER TOURISM

PHOTO EXHIBITION
ボーダーツーリズム小笠原

稚内在住のカメラマン、斉藤マサヨシが撮影したボーダーツーリズム小笠原の旅。
国境を越えないボーダーの魅力を大迫力の写真でお伝えします。

本ブースではスラブ・ユーラシア研究センターの境界研究ユニット（UBRJ）によるボーダースタディーズ（境界研究）の成果展示を行っています。今回はボーダーツーリズム（国境観光）に関わる展示の第３弾として、私たちが企画した様々な新しい旅のかたちをお届けします。

国境やボーダーには紛争、緊張といった暗いイメージがつきまといますが、国境のもつおもしろさやダイナミズムを多くの方々に共有していただくのが本展示の狙いです。またユニットでは旅行会社とのコラボを通じて、これまで稚内・サハリン、福岡／対馬・釜山、沖縄八重山・台湾といった国境越えのツアーを支援してきました。今回は中露国境、道東オホーツク、小笠原紀行など様々なボーダーに関わる観光事業の成果展示となります。みなさまと一緒に国境地域を旅するご縁を楽しみにしています。

岩下 明裕（UBRJ代表）

WAKKANAI
北海道稚内市

北緯 50 度に残る国境標石台座跡

北の国境地域、稚内からサハリンへ。

2016年7月に刊行された、ブックレットボーダーズ第三弾『稚内・北航路――サハリンへのゲートウェイ』（北海道大学出版会刊行）の内容を中心としたパネル展示を行っています。ブックレットの素材となったモニターツアーでは、稚内で歴史を学んだ後、サハリンへ向かいました。コルサコフ（旧大泊）、ユジノサハリンスク（旧豊原）など日本の匂いの残る土地を巡り、北緯50度線、かつての国境を目指します。

今と昔、二つの国境を渡る旅。北緯50度線の国境は今は存在しませんが、人々の記憶には確かに残っています。

THE FUTURE OF BORDER TOURISM
これからの国境観光

中露友好のシンボルとなったヘイシャーズ島

「端っこ」を出発点とし、国境を越えるスタイルで始まった国境観光の旅は様々な可能性を秘めています。

色々な境界のかたちがある中で、境界地域の歴史や文化を体感する観光も生まれました。

道東・根室からオホーツクを経て稚内へ至る、向こう側の世界やつながりを想像しながら旅をする「国境を越えないボーダーツーリズム」を始め、国境問題が完全解決したヘイシャーズ島で中国の中のロシアを垣間見る中露国境紀行、その先にある南の島々に思いを馳せ、船でめぐる小笠原紀行など。

ボーダーツーリズムの旅は世界のどこまでも広がっていきます。

SAKHALIN
樺太（1905-1945）

トナカイそりの輸送

写真 稚内市教育委員会所蔵

1905年、日露戦争に勝利した日本はポーツマス条約により北緯50度以南の樺太を領有しました。国境には国境標石４基、中間標石17基、木標19基が設置されただけでなく、幅10mで森林が伐採され、東西約133Kmに及ぶ文字通りの国境線が引かれました。

北辺の陸の国境は、多くの作家・詩人のあこがれの地でもありました。大正～昭和初期の旅行記などから、当時、境界線を目の当たりにした人々が何を感じ、何を考えたのか、パネルで紹介しています。

現在の日本の国境線はすべて海上にあり、目には見えません。展示を通して国境や境界の存在を感じ、考えを巡らせるきっかけとなれば幸いです。

ACCESS
アクセス

北海道大学総合博物館２階
スラブ・ユーラシア研究センターUBRJブース
札幌市北区北10条西8丁目（北海道大学キャンパス内）
電話 011-706-2658　http: //www.museum.hokudai.ac.jp/

CONTACT
お問い合わせ

SRC
北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター
北海道札幌市北区北9条西7丁目
TEL：011-706-2388　FAX：011-706-4952

UBRJ
Eurasia Unit for Border Research (Japan)

最新情報はホームページをご覧ください
https://src-h.slav.hokudai.ac.jp/ubrj/